

2008年G8サミットNGOフォーラム 第2期(2007年9月18日~2008年9月)

参加団体

記入日: 2008年5月27日

* 団体名: (日本語) **サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)環境部会**
(英語) **Network for Sustainability Communication (NSC)**

* 住所: 〒103-0033 東京都文京区本郷3-43-16 成田ビル3階 (財)地球・人間環境フォーラム内

* Tel: 03-3813-9735 Fax: 03-3813-9737

* 連絡用 E-mail: m.horie@fip.fujitsu.com Makoto.Yotsumoto@jpec.co.jp nsc@gef.or.jp

* ウェブサイト: <http://www.gef.or.jp/nsc>

参加ユニット:

貧困・開発ユニット	
環境ユニット	
人権・平和ユニット	

参加の形態:

運営NGO	
サポートNGO	

団体の設立年月日
1998年6月
団体設立の経緯と目的
環境部会の母体となるNSCは、当初環境報告書ネットワークとして設立され、CSRや持続可能性の取り組みの進化に伴い2004年10月より名称をNSCへと変更し、約180の事業者、NGO、学識者が会員として参加してサステナビリティ・コミュニケーションに関する研究・情報発信を行っています。
代表者名
サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク環境部会長 四元 誠
団体の主な活動内容
当部会は、環境経営に関わる先進的な研究を行うため2005年8月に発足し、2つのタスク(研究・講座)により活動を進めています。現在研究者やコンサルタント、事業会社のメンバーが「気候変動に伴う地球温暖化に対応する企業への新たな提言」を目標として、これまで気候変動に関する基本的な理解を深める為の勉強会や日本の産業界への提言を行うためのシナリオ検討などをいたしました。
NGOフォーラムで団体が実現したい活動
温暖化問題をめぐる近年の世界情勢の大きな変化のもと洞爺湖サミットでの議論や枠組みの決定が国内外の産業活動に大きな影響を与えていくことは必至です。当部会としては、フォーラムの参加で得られた知見や成果を企業への新たな提言に反映させていくため、以下を主な目標に参加いたします。 <ul style="list-style-type: none">・ サミットや問題に対する正確な情報の収集・ 環境NGOとコミュニケーション・ネットワークの形成・ メンバーのモチベーション向上